

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成20年3月6日(2008.3.6)

【公表番号】特表2003-519484(P2003-519484A)

【公表日】平成15年6月24日(2003.6.24)

【出願番号】特願2001-551179(P2001-551179)

【国際特許分類】

C 12 N 1/16 (2006.01)

【F I】

C 12 N 1/16 D

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月4日(2008.1.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

醸酵培地中で醸酵を実施すること、および

ジカルボン酸を含有する当該醸酵培地に、ジカルボン酸粒子形状の形成を生じさせるために、ジカルボン酸粒子形状形成有効量の脂肪物質を添加することによって、当該ジカルボン酸を含有する醸酵培地のレオロジー特性を変更することを含み、

前記形状は実質的にディスク形、実質的に一部球形および実質的に球形からなる群から選択される、醸酵方法。

【請求項2】

前記粒子が約15μm以上の直径を有する、請求項1に記載のジカルボン酸を含む醸酵培地のレオロジー特性の変更方法。

【請求項3】

前記ジカルボン酸粒子の直径が約15μm～約1cmである、請求項2に記載のジカルボン酸を含む醸酵培地のレオロジー特性の変更方法。

【請求項4】

前記実質的にディスク形または実質的に一部球形のジカルボン酸粒子の厚さが約1μm～約5μmである、請求項1に記載のジカルボン酸を含む醸酵培地のレオロジー特性の変更方法。

【請求項5】

さらに前記醸酵培地の温度を約50以下に維持することを含む、請求項1に記載のジカルボン酸を含む醸酵培地のレオロジー特性の変更方法。

【請求項6】

前記脂肪物質が脂肪酸である、請求項1に記載のジカルボン酸を含む醸酵培地のレオロジー特性の変更方法。

【請求項7】

前記脂肪物質が脂肪酸エステルである、請求項1に記載のジカルボン酸を含む醸酵培地のレオロジー特性の変更方法。

【請求項8】

前記脂肪酸エステルがメチルエステルである、請求項7に記載のジカルボン酸を含む醸酵培地のレオロジー特性の変更方法。

【請求項 9】

前記ジカルボン酸の質量に基づいて約 10 p p m 以上の量の前記脂肪物質が添加される、請求項 1 に記載のジカルボン酸を含む醣酵培地のレオロジー特性の変更方法。

【請求項 10】

前記量が前記ジカルボン酸の質量に基づいて約 10 p p m ~ 約 5 % の範囲である、請求項 9 に記載のジカルボン酸を量含む醣酵培地のレオロジー特性の変更方法。

【請求項 11】

前記量が前記ジカルボン酸の質量に基づいて約 50 p p m ~ 約 1 % の範囲である、請求項 10 に記載のジカルボン酸を含む醣酵培地のレオロジー特性の変更方法。

【請求項 12】

前記脂肪物質が脂肪酸と脂肪酸エステルの組み合わせである、請求項 1 に記載のジカルボン酸を含む醣酵培地のレオロジー特性の変更方法。

【請求項 13】

前記脂肪酸エステルがメチルエステルである、請求項 12 に記載のジカルボン酸を含む醣酵培地のレオロジー特性の変更方法。

【請求項 14】

前記発酵培地が、

(a) 代謝転換可能な炭素およびエネルギー源；

(b) 無機窒素源；

(c) リン酸塩源；

(d) アルカリ金属、アルカリ土金属、遷移金属、およびそれらの混合物から成る群から選択される少なくとも 1 つの金属；および

(e) 微粒子物質および細菌を実質的に含まないビオチン源；を含む、請求項 1 に記載のジカルボン酸を含む醣酵培地のレオロジー特性の変更方法。